

昭和34年9月26日午後6時頃、紀伊半島に上陸、平均時速65キロで北東に進み、岐阜県を縦断して27日午前0時45分、日本海へ抜けました。愛知、三重県の伊勢湾岸は高潮などにより、岐阜県内は暴風と洪水による甚大な被害を受けました。

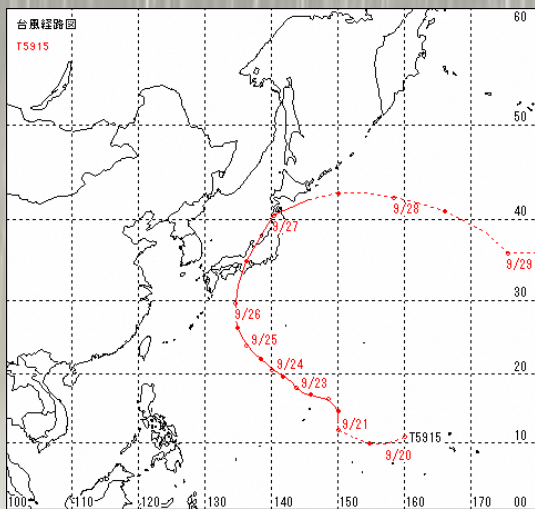
いせわんたいふう がいよう
伊勢湾台風の概要

最大風速45.4m/s
最大瞬間風速55.3m/s
(愛知県伊良湖)

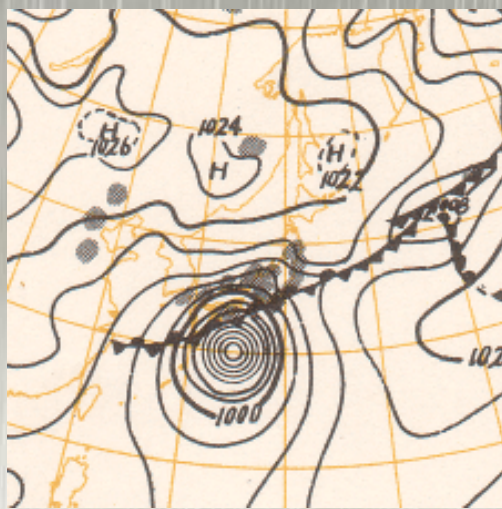
上陸時の中心気圧は我が国観測史上3番目の929.6hPaであり、ほぼ全国で20m/sを超える最大風速と30m/sを超える最大瞬間風速を観測しました。
(科学技術庁資源調査会)



東濃地方では、陶磁器工場の大半が甚大な被害を受け、生産は一時全面的にストップしました。



台風の経路図



天気図 昭和34年9月26日09時

伊勢湾台風は
明治以降最多の犠牲者を出した台風です